

(3) 不良債権処理の進捗状況

平成12年度の不良債権処理損失額は、一般貸倒引当金を含め、5,580億円となりました。12年度上期の不良債権処理をふまえた、年間の処理額といたしましては3,500億円程度を見込んでおりましたので、見込み対比2,080億円の増加となりました。

この要因につきましては、不良債権の処理促進、あるいは、翌期以降の最終処理に向けた対応を行った他、予想を上回る資産劣化、担保価値の下落による影響を受けたものがあります。なお、一般貸倒引当金を1,326億円と大きく取り崩しておりますのは、個別の引当、処理を促進させたものであります。